

国際コンテナ輸送に於けるグリーンビジネス

1. 人財ネット・ワークを作る
2. コンテナ・マッチングをシステム化
3. 免税コンテナでの国内輸送の研究
4. 新たな輸出品、サービスを造る
5. その他、エスコットの環境活動

1. 人財ネット・ワークを造る

1. 隣接異業種との情報交換
2. 会社付き合いから担当者付き合い
3. 企画・実行力をつける

月1回の人財交流ランチ



内陸デポでのコンテナ修理研修会

実運業者ネット・ワーク ハンドル倶楽部、部員募集中！

現場ネットワーク

部員、目的、ルール

- ①部員
*車両を保有する実運企業
- ②目的
*コンテナ差し替えゼロ
*マッチング増
- ③ルール
*競争より協調
*環境面での相互扶助
*情報開示のルール化

匿名・双方向情報チャンネル

- 困ったことは何でも交信！（匿名性確保）
1. 空コンテナ交換：差し替え走行削減
※デポを介しての必要コンテナの確保
 2. 空コンテナ：返却の走行とバンプール渋滞回避
※デポを介してのフリータイム対策
 3. ラウンド庸車：輸送力確保、労働時短
※片側をもった運送業者を庸車
 4. フリータイム：内陸デポー時預け
 5. 簡易修理・洗浄：専用サービス準備
 6. その他：梱包剤再利用、中古器機リユース

ハンドル倶楽部 組織

- 部長（方針決定）
↓
マネージャー
（情報配信・管理）
- 中立アドバイザー
- 環境有識者
- 労働基準有識者
- その他
- 行政、コンサル等

ユーザーネット

- 見積もり
- 輸送依頼
- 保管依頼
- 空ポジ
- コンテナ
過不足調整
- マッチング
- 梱包
- その他、
情報・
アンケート

ユーザー

- 輸入荷主
- 輸出荷主
- NVOCC
- 通関業者
- 船社
- 行政
- コンサル
- その他



持続可能なコンテナ輸送

2. コンテナ・マッチングをシステム化

1.ドライバー不足

2.燃料代高騰

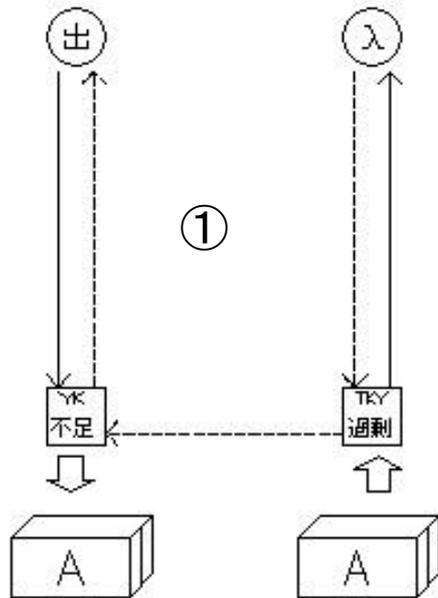
3.京浜港混雑

4.有事対応

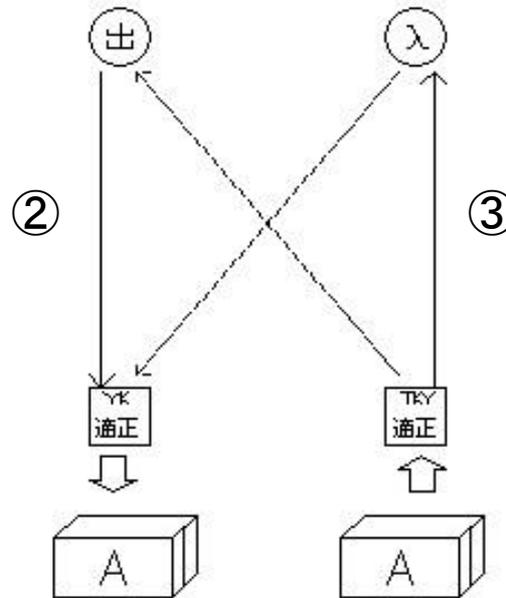
マッチング形態

- ①東京返却後、横浜に空コンテナを運ぶ
- ②横浜港出し貨物の空コンテナを東京港で引き取る
- ③輸入後の空コンテナを横浜に返却する
- ④輸入デバン後の空コンテナを輸出者が継続使用する

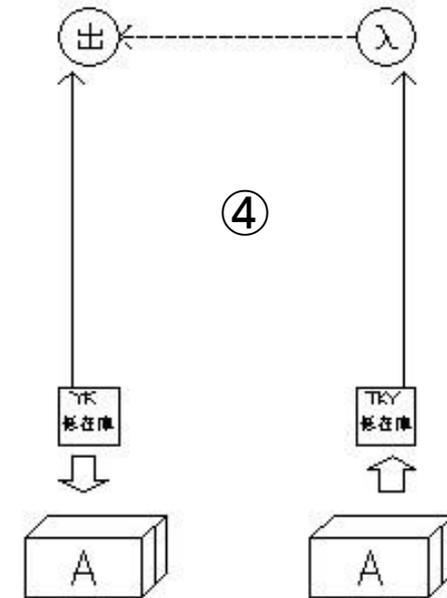
現状：ポート間の空ボジで過不足調整



改善モデル-1：クロスオペレーションで過不足調整



改善モデル-2：ダイレクトオペレーションで在庫削減



1. マッチング支援、研修・専門家派遣サービス



マッチングの基本形態と関連機関

- 輸出入マッチング、SOCマッチング、国内転用
- 船社、内陸デポ、ドレー企業との連携方法



SCOマッチング最新情報と実施法

- 実施者、関係者別メリット、デメリット、効果
- コスト、環境効果と新規営業展開



マッチングの効果と評価法、企画作成

- J-クレジットでのオフセットクレジット活用法
- マッチング企画作成法と提出先

内陸デポ・ドレージ企業調査・報告サービス



内陸デポ・ドレージ企業の最新情報調査・報告

- 最新内陸デポ機能、コンテナ在庫傾向、特性調査
- 内陸デポ、ドレージ企業紹介とマッチング調整



内陸デポとのコラボ支援

- コンテナ一時保管、修理、見積もり依頼
- 特定コンテナの交換、返却、引き取り、見積もり依頼



効果と評価法

- コスト・環境効果
- メリット・デメリット解析とデメリット対策

ドレージ企業の調査・紹介サービス



ハンドル倶楽部情報チャンネル

- クラブメンバーより地域性、輸送状況
- 空コンテナの動向による検索と見積もり依頼



マッチング条件でのドレージ企業検索

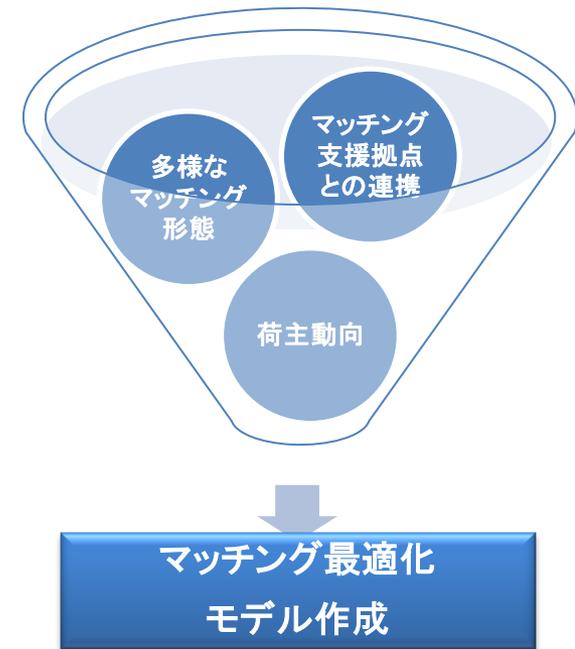
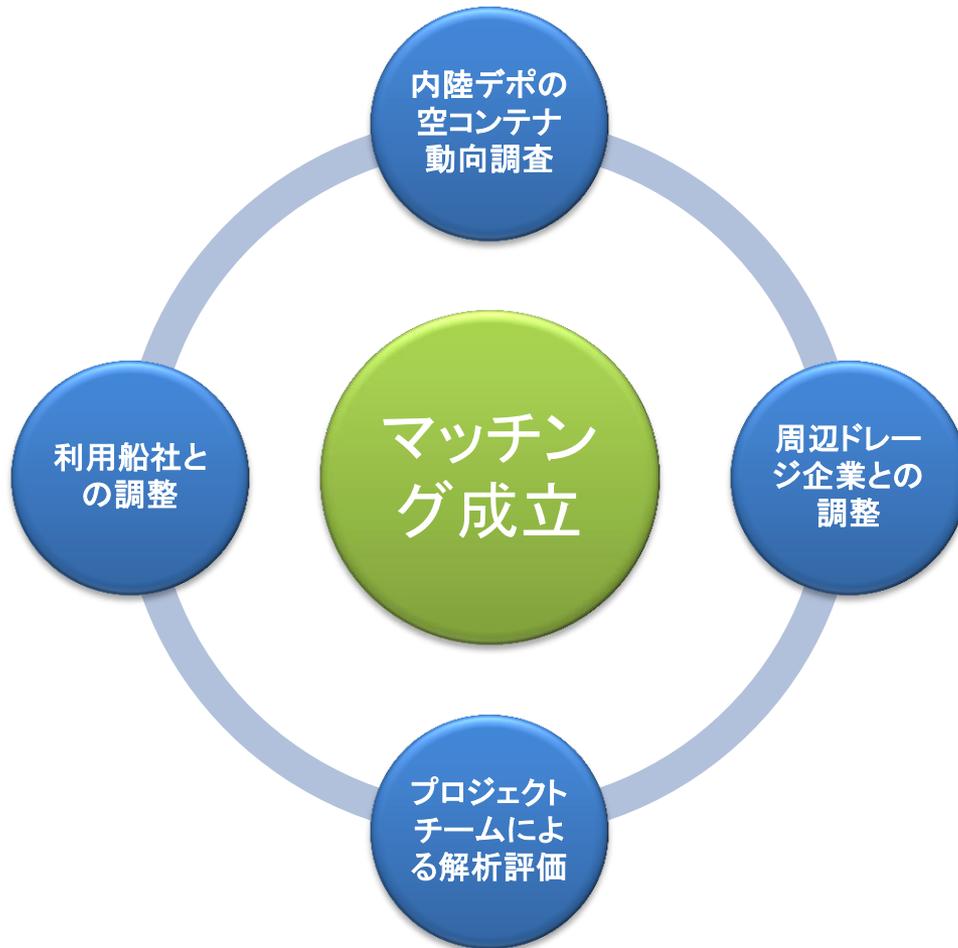
- スポット・ラウンド条件見積もり依頼
- マatchingインセンティブ



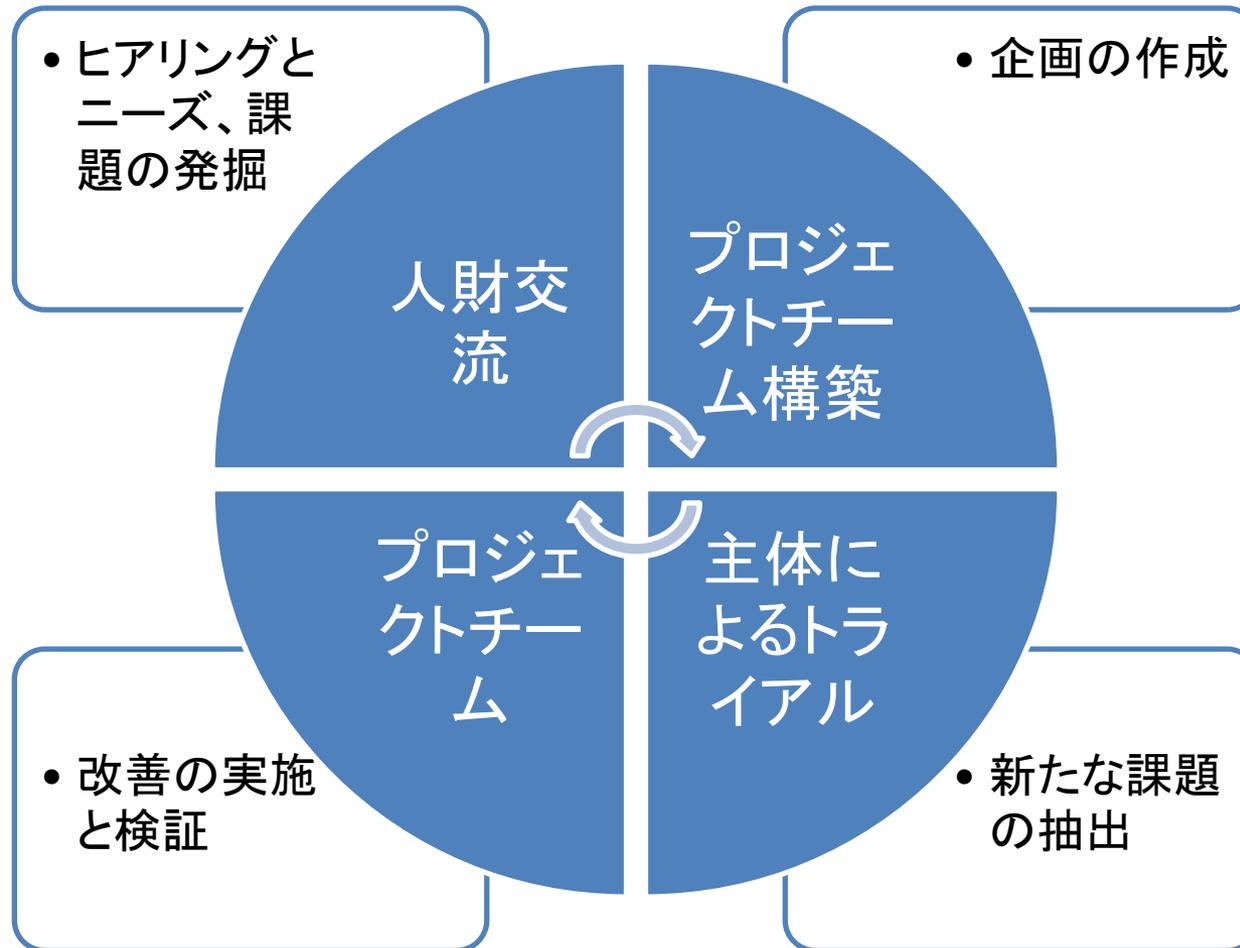
ドレージ企業グループ会議開催

- 地域別ドレージ企業者の調整とネット・ワーク化
- コンテナ交換による相互支援体制整備

マッチング企画書作サービス



プロジェクト支援サービス



SOCマッチング(コンテナ・シェアリング)

NYK Line - Container Tracking: Search Results - JR貨物情報システム部

http://www2.nykline.com/ct/containerSearch.nyk;jsessionid=jLMRRs3WVrzH4ylvh6TPILjZmh?

NYK LINE NIPPON Yusen Kaisha

HOME | GLOBAL NYK | LINER | LOGISTICS | RORO | TERMINAL | EDI | VENDOR | HELP

containerTracking

Container Search Results

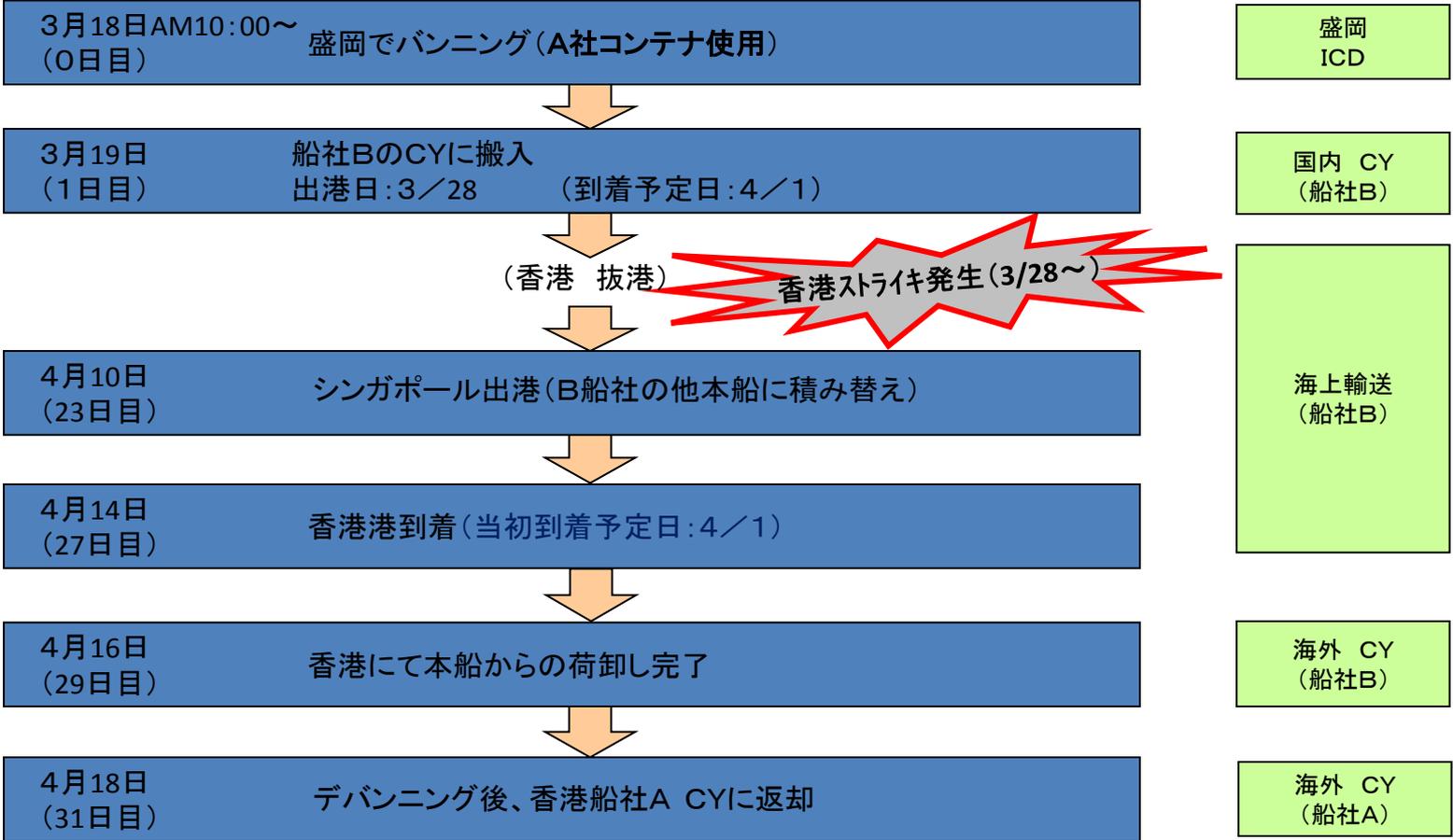
Container	OO LU7879054	Container Size/type	40'DRY
Status As Of	Event	Location	Mode
APR-14-2013 07:55	Discharged from vessel at last port of discharge	Hong Kong, HKG	SANTA BARBARA/304
Event Date	Event	Location	Mode
APR-14-2013 05:00	Vessel Arrival	Hong Kong, HKG	SANTA BARBARA/304
APR-10-2013 03:35	Vessel Departure	Singapore, SGP	SANTA BARBARA/304
APR-10-2013 00:17	Loaded on vessel at port of transshipment	Singapore, SGP	SANTA BARBARA/304
APR-07-2013 19:50	Discharged from vessel at port of transshipment	Singapore, SGP	MOL COURAGE/006
APR-07-2013 15:05	Vessel Arrival	Singapore, SGP	MOL COURAGE/006
MAR-28-2013 02:22	Vessel Departure	Tokyo, JPN	MOL COURAGE/006
MAR-28-2013 02:20	Loaded on vessel at first port of load	Tokyo, JPN	MOL COURAGE/006
MAR-19-2013 16:21	Arrived at first port of load	Tokyo, JPN	Truck

シェアリングコンテナの動き

3月18日に盛岡を出発したシェアリングコンテナは、途中香港での想定外の港湾ストに遭遇したが、B社本船にてシンガポール経由で無事香港に到着。デバンニング作業終了後、船社Aの所定CYに返却され、実験終了。

輸送経緯

コンテナの所在



東北P社、従来輸送事例

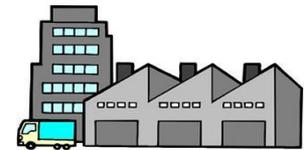
東京港CY



空テナ
往路 400km



東北P社

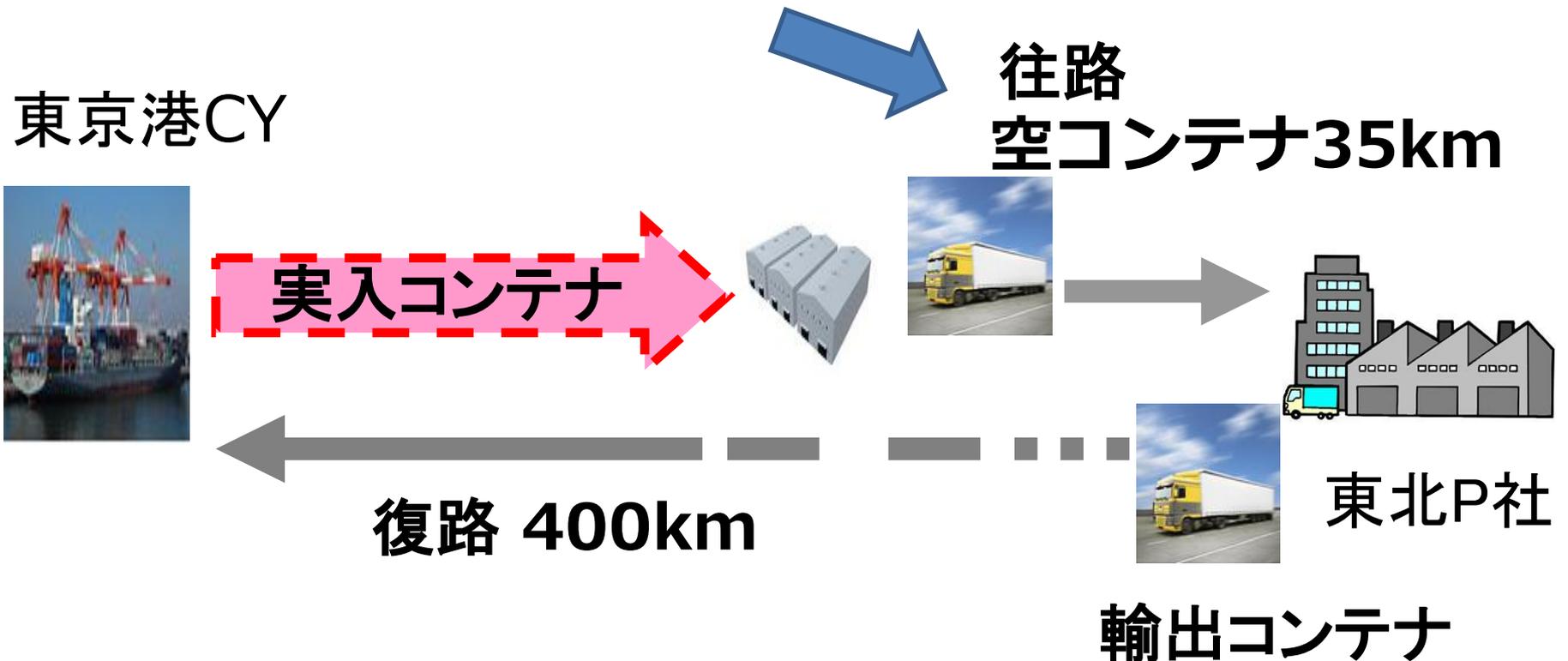


復路 400km

輸出テナ



東北P社、マッチング後の輸送事例



P社におけるマッチング効果

- **CO₂削減 4,680 k g 削減/年**
- **削減距離 365km/回**
- **輸送コスト削減 約160万円/年**

SOCマッチング実施例

(1) 実施例：秋田県、J社

山形県、P社

岩手県、S社

栃木県、J社

(2) 実施船社：K社、N社、O社、W社

(3) 輸送区間：東京港→上海、香港

関係者のメリット

輸出企業

- **陸送費用低減**
- CO2 排出枠確保
- 空コンテナ手配の効率化
- リードタイム短縮

SOC船社

- 他社コンテナでの**運賃収益**

陸運企業

- 空コンテナ差し替え負荷低減
- **ドライバーの不足**
- **燃料代削減**

コンテナ所有船社

- **低コストでの海外回送**
- **コンテナ回転率向上**
- 積み地ハンドリングコスト削減

定義

内陸でデバン後の空コンテナを
所有船社の合意の得て
第3社がフリーユースし、
SOC(荷主コンテナ)として
別船社で海上輸送を実施する。



成立条件（船社都合）

- 空コンテナが内陸に在る。
- 仕向地はコンテナが不足気味
- SOC受けが原価割れしない。

手順

1. 空コンテナの存在と品質確認
2. フリーユース条件確認
3. 確認書での荷主との合意
4. SOC受け船社に船腹予約
5. 船積み実施
6. 仕向地でデバン後、所有船社に返却

通常モデル適用

検討会



通常使用船社K社



デポからコンテナ供給



コンテナシェアリング国内フロー

3本口の1本がSOC



工場バンニング



使用船社シール使用



東京港経由で上海に

注意・確認事項

1. 船社間インターチェンジではない。
2. リース、レンタル、プールでは無い。
3. SOC受け船社は通常輸送で対応可。
4. コーディネーターによる代行推奨。

確認書記載事例

お申込日：平成24年5月28日

【コンテナ・シェアリング確認書】

貴社名：	〇〇株式会社
ご担当者：	

ご確認内容

1.コンテナお渡し場所及び返却場所

お渡し地：	OOCL山形デポ(TKY14 YAMAGATA ICD) 山形県西置賜郡白鷹町大字十王3221 担当：大木様、新野様0238-86-0088
ご返却地：	SOCT depot, JunGong Rd. No.4049 Block D, Shnghai. contact Person:Mr.Xue via 56441727*126

※弊社手本からのコンテナお引き渡しは検査済コンテナを車上渡し(検査料とリフト・オコストは弊社負担)にて行います。
※返却場所はOOCLが通常使用している**現地ハブヤード**となります。

2.ご利用コンテナタイプと本数

20ft	2本	40ft	本	40ft背高	本
Auth#:C121850JPN101 (許可番号) Ctnr #:1287799_OOLU1873188 (2x20GP)					

3.使用船社、船名、B/L番号

船社名:"K"line Ltd 本船名:LOS ANGELS BRIDGE V.022S Booking番号:JPTA302775 ご担当：
--

※コンテナトレス等が必要となります。船積み後のご連絡で結構です。

4.利用期間

ご利用日数:30日(※取り決め期間を超えた場合はチャージが発生する場合があります。できるだけ早めの返却をお願いします。)
--

5.備考

仕向け地での返却の予定が分かり次第、弊社までご連絡願います。こちらからもSOCTIに事前連絡します。 返却にはKL様ターミナルからの見入り搬出用EIRをご利用いただけます。

6.船社関係者連絡先

K'Line (Japan)Ltd. 郷様 03-3595-5166、インベントリー・トラフィック業務グループ 黒岡拓己様 03-3790-9057 OOCLオペレーション部、清水 080-3359-5322 藤本 080-4365-0861
--

7.日本側通関業者様

社名:郵船ロジスティクス東北株式会社 担当者:遠藤 様 TEL:023-686-3061
--

8.現地でコンテナ 取り扱い業者様連絡 先

本号変更届出書への記載合意書 ※税関からの要請書類で今回、OOCL→OOCLロジスティクス株式会社→東北ハイオン株式会社→Klineとなります。
前記1の輸送区間においてOOCL社、山形デポからK'Line (Japan)Ltd.社、東京CY区間の管理者となる事、合意いたします。
社名:東北ハイオン株式会社 担当者名:物流管理課 菅原(kazuhiro.suzahara@post.pioneer.co.jp)・斎藤(shinichiroh.saitoh@post.pioneer.co.jp)

区間、日数、船積み情報、返却場所、関係者リスト

マッチング成功のポイント

- WEBシステム開設
- 推進チーム結成
- トライ&トライ